
第 1

栃木県の歯科保健事業

(平成 30 年度実績)

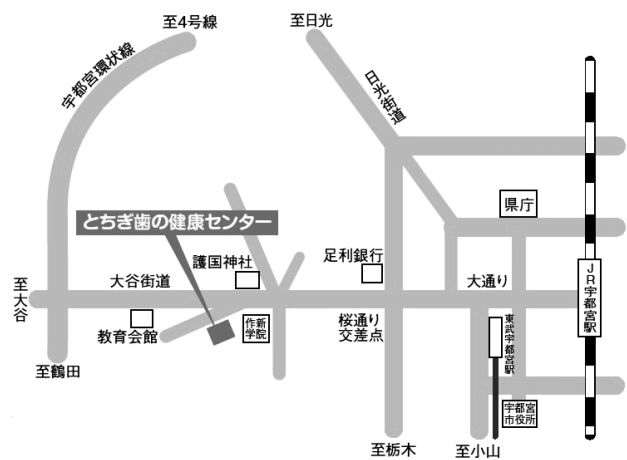
I とちぎ歯の健康センター

とちぎ歯の健康センターは、県民一人ひとりが歯及び口腔の健康について正しい知識を持ち、生涯自分の歯を守り、健康に過ごすことができるよう、県の歯科保健対策を推進する「歯の保健所」として、平成6（1994）年2月に開館しました。

（1）施設の概要

センターの1階には障害者歯科診療所、2階には図書資料室やとちぎ在宅歯科医療連携室、3階には研修室があり、各種歯科保健事業を展開しています。

- ・所在地 栃木県宇都宮市一の沢2丁目2番5号
- ・設置主体 栃木県
- ・運営主体 （一社）栃木県歯科医師会
- ・連絡先 TEL：028-648-6480
FAX：028-648-6483
- ・ホームページアドレス
<http://tochigi-da.or.jp/>

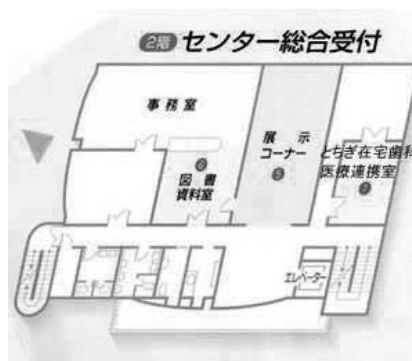


とちぎ歯の健康センター平面図



1階平面図

- ① ロビー
- ② 受付
- ③ 治療室
- ④ ブラッシング室
- （その他）待合室



2階平面図

- ⑤ 展示コーナー
- ⑥ 図書資料室
- ⑦ とちぎ在宅歯科医療連携室
- （その他）事務室



3階平面図

- ⑧ 研修室
- （その他）ブラッシングコーナー

（2）平成 30 年度障害者歯科医療の状況

1 階の診療所において、障害者の歯科診療を行いました。

（ア）診療体制

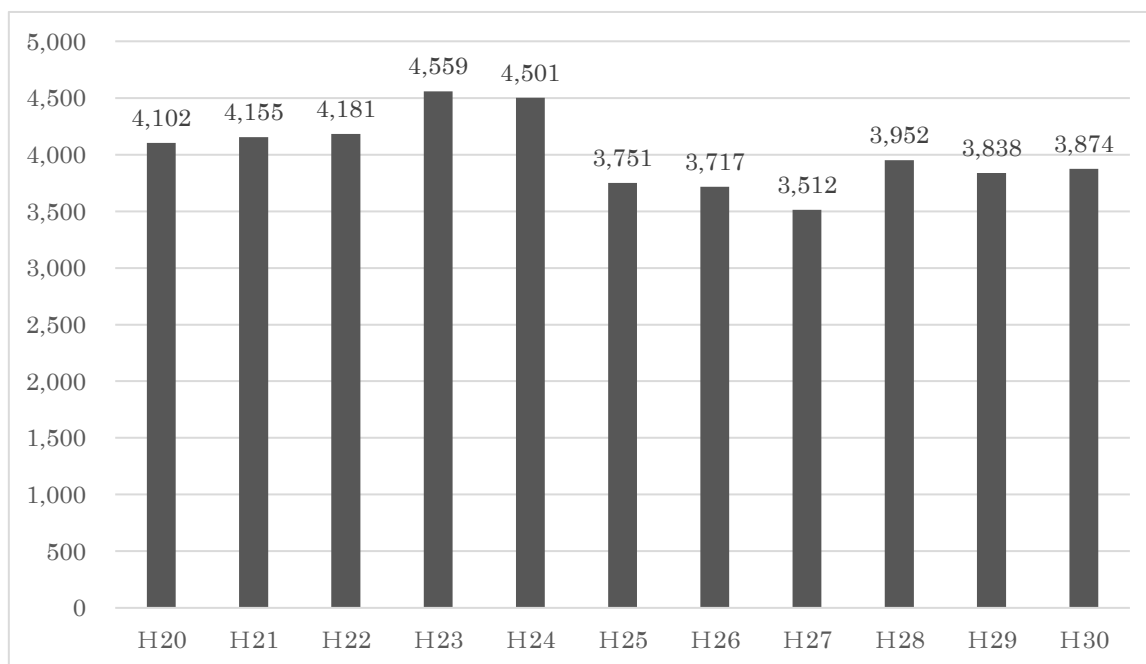
- ・診療日 月曜日～金曜日（予約制） ※ 祝日・年末年始を除く
- ・診療時間 午前：9 時～12 時、午後：1 時 30 分～5 時
- ・スタッフ
 - 午前：歯科医師 1 名（常勤）
 歯科衛生士 6 名（常勤）
 - 午後：歯科医師 3 名（常勤 1 名、県歯科医師会 輪番制診療実行委員 2 名）
 歯科衛生士 7 名（常勤 6 名、他 1 名）

（イ）診療状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
診療日数（日）	20	21	21	20	19	18	22	21	18	19	19	20	238
延患者数（人）	316	340	335	345	299	300	375	319	299	296	317	333	3,874

（ウ）診療実績（延患者数）の年次推移

（人）



（3）健康相談

電話及び来所による歯科保健に関する相談を実施しました。

- ・受付時間：午前 9 時～午後 4 時 30 分

(ア) 相談件数及び相談内容別内訳

内容	治療内容について						予防 指導	障害者等 の 歯科相談	その他	合 計
	むし歯	歯周 疾患	抜歯	補綴	矯正	その他				
件数	7 件	6 件	10 件	35 件	1 件	21 件	1 件	4 件	20 件	105 件

（4）普及啓発

「展示コーナー」、「図書資料室」における各種資料の展示及び各種広報媒体を活用し、普及啓発活動を行いました。

(ア) 展示コーナー、図書資料室における資料貸出し状況

	図書	ビデオ・DVD	公衆衛生教材・展示物	生涯ライブラリー	合 計
貸出数	85 件(237 点)	43 件(135 点)	124 件(462 点)	3 件(3 点)	255 件

(イ) 機関紙等発行

とちぎ歯の健康センターだより 第 25 号

(ロ) 視察研修

診療所及び展示コーナーの見学、センター事業の説明、研修、体験学習等

（5）フッ化物洗口実施に係る技術的支援

市町や小中学校におけるフッ化物洗口の実施にあたり歯科専門職による技術的支援を行いました。

従事歯科医師数	市町名	実施人員
132 人	足利市、佐野市、日光市、大田原市、那須塩原市、高根沢町、那須町、那珂川町	22,529 人

（6）歯と口の健康週間事業

歯と口の健康週間に歯と口腔に関する正しい知識の普及を図るため、県内 11 ヶ所において講演会・保健指導を実施しました。

実施回数	対象者	参加者数
11 回	一般県民	3,077 人

Ⅱ 栃木県の歯科保健医療対策体系

区分 (栃木県歯科保健基本計画 施策体系毎)	事業名	ライフステージ					実施主体			
		乳幼児	小学・中学・高校生	成人	高齢者	障害者・要介護者	県	教育委員会	市町	関係機関
1 歯や口腔と関係する病気等の予防の推進	栃木県口腔保健支援センター事業									
	県政出前講座	○	○	○	○		○			
	各種広報媒体を活用した広報活動	○	○	○	○		○			○
	障害者及び高齢者の歯科口腔保健の推進				○	○	○			○
	市町の歯科保健事業への支援 (フッ化物洗口実施支援事業)		○	○			○		○	○
	各種表彰制度による歯科保健活動の推進									
	栃木県歯科保健賞	○	○	○	○		○	○		○
	よい歯のコンクール（親と子・三歳児）	○					○		○	○
	よい歯の優良学校コンクール		○				○	○		○
	よい歯の図画・ポスター、作文、標語コンクール		○				○	○		○
	とちぎ歯の健康センター事業									
	健康相談	○	○	○	○		○			○
	普及啓発	○	○	○	○		○			○
	フッ化物洗口実施に係る技術的支援		○				○			
歯と口の健康週間事業	○	○	○	○		○		○	○	
2 歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及	へき地巡回歯科診療	○	○	○	○		○			○
	永久歯等対策事業（保育所・幼稚園・障害児通所施設等）	○				○	○			○
	妊産婦歯科健康診査、相談指導	○		○					○	
	乳幼児の歯科保健に関する相談指導	○							○	
	1歳6か月児歯科健康診査、相談事業	○							○	
	2歳児歯科健康診査、相談指導	○							○	
	3歳児歯科健康診査、相談事業	○							○	
	学校歯科検診等		○					○		○
	歯周病検診（40・50・60・70歳）※健康増進法に基づく事業			○	○				○	
	歯周病検診 ※健康増進事業外			○					○	
	歯科健康相談、健康教室（65歳未満の成人）			○					○	
口腔機能の維持向上に関する事業（介護予防事業等）				○				○		
歯科疾患実態調査（5年毎）	○	○	○	○		○			○	
3 障害者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保	障害者歯科診療事業					○	○			○
	障害者歯科医療システムの運用					○	○			○
	障害者高次歯科医療提供体制整備事業					○	○			○
	永久歯等対策事業（再掲）	○				○	○			○
	福祉施設巡回歯科相談・指導事業【一部新規】					○	○			○
	在宅歯科医療連携推進事業					○	○			○
	在宅歯科医療従事者研修事業					○	○			○
	多職種連携による栄養指導・口腔機能向上事業				○	○	○			○
4 歯科保健医療提供体制の整備	歯科衛生士再就職支援事業						○			○
	歯科保健指導者・医療従事者研修事業	○	○	○	○	○	○			○
	医科歯科連携推進事業	○	○	○	○	○	○			○
	とちぎ歯の健康センター整備事業					○	○			
	歯科保健推進協力交付金	○	○	○	○	○	○			
	栃木県歯科保健推進協議会			○	○	○	○			
	8020運動推進協議会				○	○	○			
	とちぎ歯の健康センター運営等協議会	○	○	○	○	○	○			

Ⅲ 県の歯科保健対策事業

1 歯や口腔と関係する病気等の予防の推進関連事業

歯や口腔の病気の予防は、全身の健康づくりや疾病等の予防の観点からも重要であることから、歯や口腔の病気の予防等の各施策を効果的に進めるため、情報収集や提供、普及啓発などに関する事業を実施しました。

(1) 栃木県口腔保健支援センター事業

県民の口腔機能の維持向上を目指して、平成 28 年 4 月、健康増進課内に「栃木県口腔保健支援センター」を開設し、市町や関係機関等と連携しながら歯科保健対策の企画立案や助言指導などを行っています。

〔人員体制〕・センター長：健康増進課長

・センター職員：歯科医師（1名）、歯科衛生士（1名）

① 県政出前講座

県民からの要望に応じて、県政出前講座を行いました。

実施時期	対象施設・団体等	参加者数
6月	高齢者向け講座 (下野市南河内東公民館)	27名
9月	自治会厚生部の活動 (鹿沼市みなみ町集会所)	20名

② 各種広報媒体を活用した広報活動

テレビやラジオ等の広報媒体を活用し、広く県民に普及啓発を行いました。

実施時期	媒体等	番組テーマ・広報紙配布先
6月	・とちぎテレビ／県政ひとくちメモ ・CRT 栃木放送／県政ナビ	歯と口腔の健康づくり
3月	・フッ化物応用に関する啓発リーフレット ・オーラルフレイル予防に関する啓発リーフレット 各1万部作成	市町及び小学校に配布

③ 障害者及び高齢者の歯科口腔保健の推進

- ・入所者の口腔ケアについて先進的な取組を行う特別養護老人ホーム(1施設)をセンター職員が訪問し、聴き取り調査を行いました。
- ・平成 30 年度から新たに福祉施設への訪問による口腔ケア研修(P11 参照)を始めたことから、事業の実施状況の把握や職員との意見交換を行いました。

〔平成 30 年度実績〕 障害者支援施設(1施設)、特別養護老人ホーム(3施設)

- ・障害福祉サービス事業者や介護サービス事業者向けの説明会において、利用者の口腔衛生管理に関する講話や県の関連事業の紹介を行いました。

④ 全国歯科保健大会及び研修会の開催

- ・第 26 回全国歯科保健推進研修会

全国都道府県及び県内市町の歯科保健行政職員等を対象に、栃木県歯科医師会との共催で開催しました。

実施日：平成 30 年 11 月 16 日 / 会場：栃木県庁 / 参加人数：115 人

・ 第 39 回全国歯科保健大会

健康長寿社会の実現に向けた歯科の役割や取組について討議して全国に発信するため、厚生労働省、宇都宮市、日本歯科医師会、栃木県歯科医師会との共催で開催しました。

実施日：平成 30 年 11 月 17 日 / 会場：宇都宮市文化会館 / 参加人数：約 1,500 人

⑤ 市町の歯科保健事業への支援

小学校で、フッ化物洗口を実施する市町に対して、事業費の助成を行いました。

市町名	小学校数	実施人数
大田原市	21 校	3,571 人
高根沢町	6 校	1,434 人
佐野市	26 校	5,530 人
那須塩原市	21 校	6,098 人
那須町	7 校	893 人
栃木市	6 校	826 人
6市町	87 校	18,352 人

(2) 各種表彰制度による歯科保健活動の推進

歯科保健活動の優良事例を表彰することにより、さらなる歯科保健活動を推進しました。

① 栃木県歯科保健賞

栃木県歯科保健賞は、昭和 52 年に栃木県歯科医師会が第 29 回保健文化賞を受賞したことを記念して創設されたものです。県内における歯科保健衛生の分野で、優れた業績を挙げた団体及び個人の功績に対して、顕彰を行っています。

② 親と子のよい歯のコンクール・三歳児よい歯のコンクール

親と子の口腔衛生の向上及び普及啓発を図るため、3歳児健診を受診した幼児及びその親を対象に、コンクールを実施しました。なお、平成 30 年度においては、中央審査に推薦した親子（県コンクールの最優秀）が優秀者に選ばれ、11 月に宇都宮市で開催された全国歯科保健大会で表彰されました。

審査結果

コンクール名	審査				審査結果（第 3 次）		
	第 1 次	第 2 次	第 3 次	中央	最優秀	優秀	優良
親と子	63 組	33 組	12 組	1 組	1 組	3 組	8 組
三歳児	322 人	93 人	10 人		1 人	3 人	6 人

「親子」部門受賞者

最優秀賞	池田 夏子	彰仁	宇都宮市
優秀賞	小林 紀恵	陽葵	足利市
〃	関口 繭江	直杜	栃木市
〃	和氣 一勲	悠翔	宇都宮市
優良賞	小川 千佳	昊輝	鹿沼市
〃	小瀬 有希	絆太	茂木町
〃	木村 真由美	晃太郎	下野市
〃	笹島 智恵美	紗榎	日光市
〃	鈴木 栄子	孝昌	芳賀町
〃	鈴木 清華	結葉	さくら市
〃	松本 一弘	栞里	大田原市
〃	山中 美音	生智	佐野市

「三歳児」部門受賞者

最優秀賞	後藤 洵	壬生町
優秀賞	井上 碧	足利市
〃	鈴木 陽与	宇都宮市
〃	三関 杏	佐野市
優良賞	海老ヶ瀬 優日	宇都宮市
〃	佐藤 暁杜	矢板市
〃	月井 瑛人	那須塩原市
〃	永嶋 心葉	茂木町
〃	根岸 航	下野市
〃	山本 凧	鹿沼市

③ よい歯の優良学校コンクール

児童生徒の歯科保健の向上発展を図るため、栃木県教育委員会・栃木県歯科医師会との三者共催でコンクールを行い、定期健診の結果（むし歯数・処置歯率等）や学校歯科保健活動の状況などを総合的に審査し、優良学校を表彰しました。

審査結果

区分	参加校	栃木県 知事賞	栃木県議会 議長賞	栃木県 教育長賞	栃木県 医師会長賞	栃木県歯科 医師会長賞	入選
小学校	194校	1校	2校	3校	3校	9校	50校
中学校	75校	1校	2校	3校	3校	9校	20校

受賞校

区 分	小学校の部	中学校の部
栃 木 県 知 事 賞	栃木市立西方小学校	那須町立那須中学校
栃 木 県 議 会 議 長 賞	宇都宮市立今泉小学校	栃木市立西方中学校
	宇都宮市立陽南小学校	宇都宮市立鬼怒中学校
栃 木 県 教 育 長 賞	下野市立緑小学校	宇都宮市立清原中学校
	高根沢町立阿久津小学校	大田原市立湯津上中学校
	宇都宮市立御幸が原小学校	日光市立小林中学校
栃 木 県 医 師 会 長 賞	宇都宮市立城山西小学校	那須塩原市立塩原小中学校
	日光市立今市小学校	日光市立東原中学校
	日光市立今市第二小学校	県立矢板東高等学校附属中学校
栃木県歯科医師会長賞	上記 9校	上記 9校

④ よい歯の図画・ポスター、作文、標語コンクール

歯と口の健康週間事業の一環として、小中学校の児童から歯科保健に関する図画・ポスター、作文、標語を募集し、優れた作品を表彰しました。なお、平成30年度においては、県コンクールで特選に選ばれた標語「いつまでも 続くけんこう 歯の力」が、「平成30年度歯と口の健康啓発標語コンクール」（日本歯科医師会主催）で最優秀賞を受賞しました。

区 分		特選	入選
図画ポスター	小学校	2点	22点
	中学校	1点	9点
作 文	小学校	2点	13点
	中学校	1点	8点
標 語	小学校	2点	19点
	中学校	1点	9点

「図画ポスター」受賞者

小学校の部 特選	鹿沼市立さつきが丘小学校	3年 布施 さくら
	宇都宮市立国本西小学校	6年 矢野 心咲
中学校の部 特選	足利市立坂西中学校	2年 小島 果恋

「作文」受賞者

小学校の部 特選	下野市立国分寺小学校	3年 垣内 愛生
	小山市立中小学校	6年 安齋 隼太郎
中学校の部 特選	小山市立間々田中学校	3年 小澤 由佳

「標語」受賞者

小学校の部 特選	塩谷町立大宮小学校	2年 若井田 悠斗
	佐野市立田沼小学校	4年 田波 舜祐
中学校の部 特選	宇都宮市立田原中学校	2年 會田 結大

2 歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及関連事業

県民自らが歯や口腔の健康づくりの重要性を理解し、実践的に取り組むため、学習や歯科検診の機会を提供しました。

（1）へき地巡回歯科診療

無歯科医地区を有する市町の中で、要請のあった地域の住民に対して、歯科巡回診療バス「ルリちゃん号」による歯科診療を実施しました。

No.	市町名	実施場所	実施回数	患者延人数
1	日光市	栗山小学校	6回	32人
2	那珂川町	馬頭東小学校	9回	57人
3	那珂川町	旧馬頭西小学校	9回	24人
合 計			24回	113人

（2）永久歯等対策事業

県内の保育所・幼稚園等（認定こども園を含む）、障害児通所施設、盲・聾・特別支援学校の幼児と保護者等を対象に、歯科衛生士が「六歳臼歯の重要性」の説明や歯科保健指導を行いました。

種 別	実施回数	対象者数
保育所・幼稚園	107回	4,090人
障害児通所施設	15回	228人
盲・聾・特別支援学校	11回	233人
合 計	133回	4,551人

3 障害者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保関連事業

歯科検診等を受けることが難しい状況にある障害者や要介護高齢者等に対して、歯科保健医療サービスを確保するための事業を実施しました。

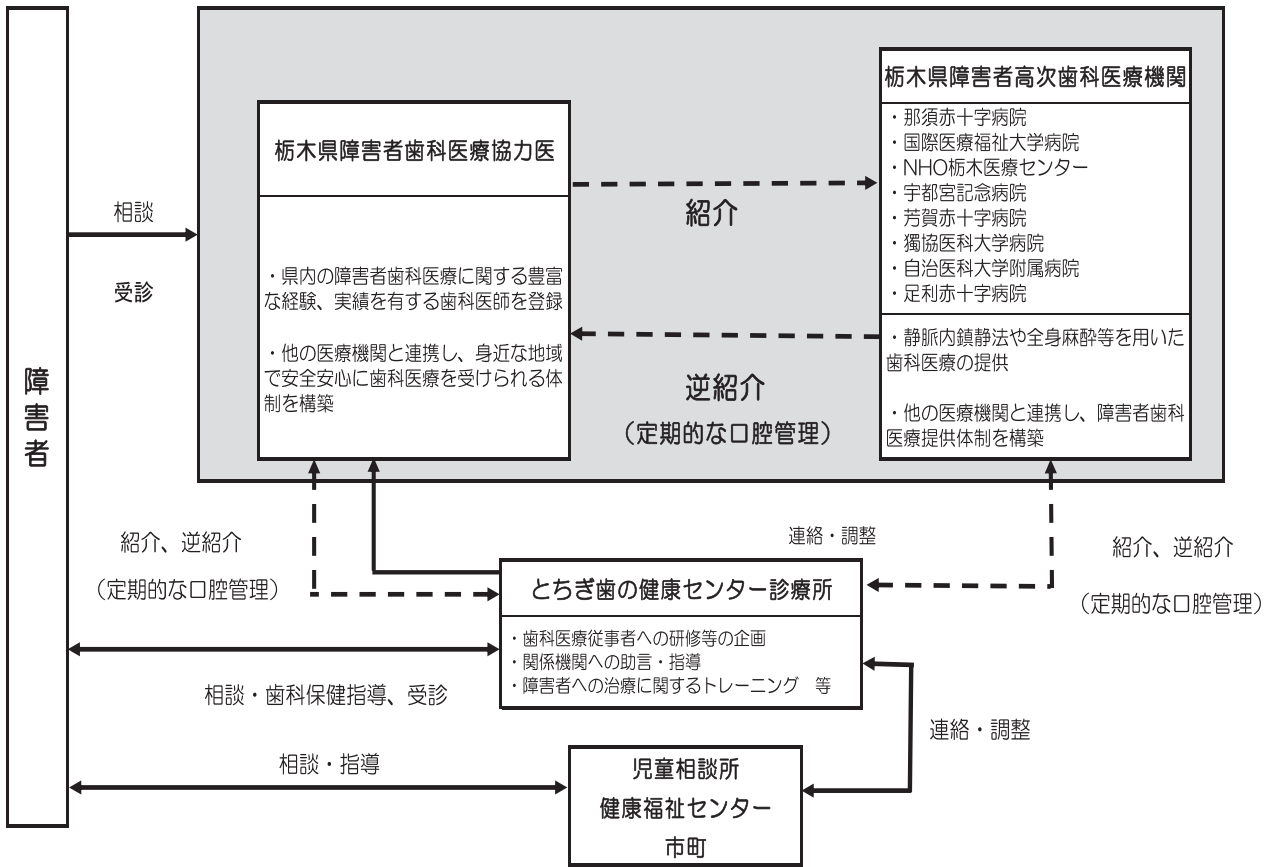
（1）とちぎ歯の健康センター診療所

1階の診療所において、障害者を対象に歯科診療を実施しました。（P2 参照）

（2）栃木県障害者歯科医療システムの運用

障害者が住み慣れた身近な地域の中で歯科医療を受けられるようにするため、平成 28 年 4 月に構築した「栃木県障害者歯科医療システム」の円滑な運用を推進しています。

栃木県障害者歯科医療システム図（H28.4～）



① 栃木県障害者歯科医療協力医の登録

障害者が住み慣れた身近な地域で適切な歯科医療を受けることができるよう、障害者歯科医療に取り組む県内の歯科医師を「障害者歯科医療協力医」として登録しています。

栃木県障害者歯科医療協力医の登録及び医療の提供状況

2次保健医療圏	県北	県西	宇都宮	県東	県南	両毛	合計
協力医登録者数	20人	27人	24人	8人	40人	25人	144人
障害者受診状況	189人	291人	237人	88人	586人	558人	1,949人

② 栃木県障害者高次歯科医療機関の指定

- ・高次歯科医療機関の指定状況〔平成30(2018)年4月1日現在〕

那須赤十字病院、国際医療福祉大学病院、NHO 栃木医療センター、宇都宮記念病院、芳賀赤十字病院、獨協医科大学病院、自治医科大学附属病院、足利赤十字病院

- ・患者受入等状況

種別	外来新患者数	静脈内鎮静法	全身麻酔	紹介患者受入数	逆紹介患者数
実績	1,128人	551件	1,012件	404人	378人

③ 障害者高次歯科医療機関による研修会の開催

障害者高次歯科医療機関において、障害者歯科医療に関する知識の普及と連携促進のため、障害者歯科医療協力医を対象に研修会を開催しました。

実施日	内容	講師	会場	参加人数
11月29日	障がい児者への食の支援	昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔衛生学部門 教授 弘中 祥司 氏	獨協医科大学 病院	・歯科医師 ・歯科衛生士 計 58 名
2月24日	①障害者歯科総論 ②歯科治療のリスクマネジメント ③障害者歯科治療の実際	宇都宮記念病院 佐々木 忠昭 氏 救急部スタッフ	宇都宮記念病院	・歯科医師 ・歯科衛生士 ・歯科助手 計 25 名

④ 障害者高次歯科医療提供体制整備事業

障害者へ静脈内鎮静法や全身麻酔法などを用いた歯科医療を提供するため、NH0 宇都宮病院の運営費に対して助成しました。

種別	患者数	全身麻酔
実績	84 人	50 件

(3) 福祉施設巡回歯科相談・指導事業

障害者及び高齢者の入所施設を訪問し、入所者の歯科検診、職員対象の口腔ケア研修等を実施しました。

種別	歯科検診		口腔ケア研修（新規）	
	実施回数	受診者数	実施回数	受講者数
障害者支援施設・福祉型障害児入所施設	4 回	81 人	8 回	47 人
特別養護老人ホーム	11 回	214 人	12 回	130 人
合計	15 回	295 人	20 回	177 人

(4) 在宅歯科医療連携推進事業

在宅歯科医療を推進するための各種事業を実施しました。

① 在宅歯科医療連携室

在宅歯科医療に関する相談や診療所の紹介、ポータブル歯科医療機器の貸出などを行う「在宅歯科医療連携室」の運営費に対して助成を行いました。

区分	相談対応	機器貸出
件数	76 件	96 件（診療件数：3,673 件）

② 在宅歯科医療従事者研修

実施日	内容	講師	会場	参加人数
12月16日	食べる喜びを支える歯科医療 ～診療室から在宅往診まで対応できるデンチャースペース義歯の真髄～	加藤歯科医院 院長 加藤 武彦 氏	栃木県歯科医師会館	118人
3月3日	手を携えて“食べる”を守る ～歯科医療従事者と栄養士で出来ること～	口腔栄養サポートチーム レインボー代表 管理栄養士 渡邊 真紀子 氏		81人
合計			2回	199人

(5) 多職種連携栄養指導・口腔機能向上事業

歯と口腔機能の衰え（オーラルフレイル）の予防や栄養指導・口腔機能向上について、多職種連携による取組を促進するため、研修会を開催しました。

実施日	内容	講師	会場	参加人数
2月24日	かかりつけ歯科医が実施する診療室を核にした在宅と摂食機能療法 ～口腔機能低下症から摂食機能障害に至る着眼点と多職種連携の手法～	日本大学歯学部 摂食機能療法学講座 教授 植田 耕一郎 氏	栃木県歯科医師会館	107人

4 歯科保健医療提供体制の整備関連事業

県民の生涯にわたる健康の保持増進を図るため、保健、医療、福祉、教育等関係者の資質向上や連携強化に取り組みました。

(1) 歯科衛生士再就職支援事業

出産・子育て等を理由に離職した歯科衛生士の再就職を支援するため、研修を行いました。

実施日	内容	講師	会場	参加人数
9月26日	口腔ケアのイロハとは	栃木県歯科衛生士会 歯科衛生士 9人	とちぎ歯の健康センター	5人
10月31日	口腔内写真撮影法について			7人
11月28日	卓上でのスケーラー操作			3人
12月16日	口腔ケアの実際 歯科衛生士編			6人
2月17日	口腔ケア実践セミナー			4人
1月27日	歯科に役立つ薬の知識	下都賀歯科医師会 手代木 一人 氏		25人
計			6回	50人

（2）歯科保健指導者・歯科医療従事者研修会

歯科保健指導者、歯科医療従事者を対象に教育・研修を実施しました。

実施日	内容・講師	対象者	参加人数
12月9日	<ul style="list-style-type: none"> ○「障害者歯科診療のススメ～これからの障害者歯科に求められていることおよび先天奇形症候群について～」 日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座 教授 野本 たかと 氏 ○「私の障害者歯科診療～臨床から感じたこと～」 とちぎ歯の健康センター 事業検討委員会委員長 寺内 達成 氏 ○「とちぎ歯の健康センター診療所の現状と連携について」 とちぎ歯の健康センター 専任歯科医師 神谷 清 氏 	歯科医師 歯科衛生士	67人

（3）医科歯科連携推進事業

歯と口腔の病気は、生活習慣病の発症や進行などと深く関わっていることから、医師と歯科医師が連携（以下「医科歯科連携」という。）して患者の治療に取り組むことが求められています。

① 糖尿病診療における医科歯科連携の推進

糖尿病の人が歯周病の治療をすると血糖値が改善することがあるため、「糖尿病治療連携マニュアル」（平成28年3月作成）に基づき、糖尿病の初期・安定期治療を担う医療機関と歯科診療所との間における患者紹介や治療に関する情報共有を推進しています。

年 度	H27	H28	H29
糖尿病診療における医療機関と 歯科診療所との連携状況	20.0%	20.9%	23.2%

② がん患者の治療に関わる医科歯科連携の推進

がん治療に伴い、口腔内には様々な合併症が出現することがあり、その合併症の予防と治療（以下「周術期口腔機能管理」という。）には、医科歯科連携が重要です。栃木県立がんセンターでは、がん患者に対する周術期の口腔機能管理が円滑に行われるよう、地域の歯科診療所を対象に研修を行っています。

（4）とちぎ歯の健康センター整備事業

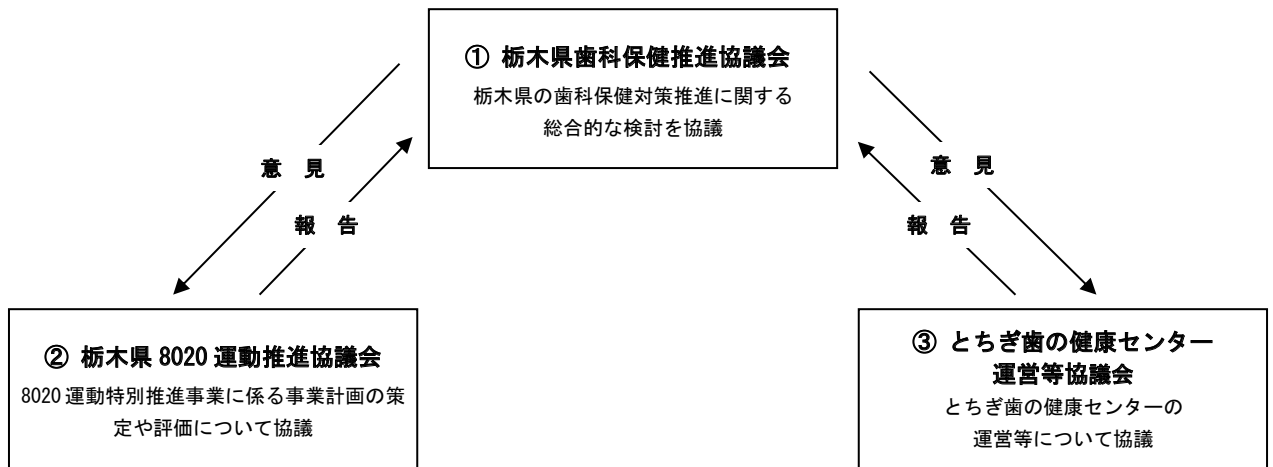
自動火災報知設備を更新することにより、センターを利用する障害者の安全確保と歯科医療の提供体制の強化・充実に努めました。

（5）歯科保健推進協力交付金

（一社）栃木県歯科医師会が行う歯科保健対策推進事業に対し支援を行いました。

（6）歯科保健対策関連協議会

歯科保健対策事業の充実を図るため、3つの協議会を設置しています。



① 栃木県歯科保健推進協議会

様々な分野の専門家議会委員に委嘱し、総合的な歯科保健対策事業について協議しました。

- ・日 時：平成30(2018)年8月9日
- ・場 所：県庁会議室
- ・議 題：県民の歯及び口腔の健康状況について 他

栃木県歯科保健推進協議会委員〔任期：H28(2016). 8.22～H30(2018). 8.21（2年間）〕

	氏 名	所属・役職等
1	宮 下 均	栃木県歯科医師会 会長
2	川 津 博 亨	栃木県歯科医師会 副会長（地域保健）
3	佐 川 徹 三	栃木県歯科医師会 副会長（学校保健）
4	前 原 操	栃木県医師会 副会長
5	林 幸 子	栃木県歯科衛生士会 会長
6	土 屋 秋 夫	栃木県歯科技工士会 会長
7	川 田 亨	栃木県老人福祉施設協議会 理事（特別養護老人ホームかがやき）
8	飯 島 芳 子	栃木県保育協議会 副会長（宇都宮市立竹林保育園長）
9	石 河 敏 昭	栃木県町村会（茂木町保健福祉課長）
10	田 中 圭 子	栃木県市町村保健師業務研究会 副会長（高根沢町健康福祉課）
11	阿 部 龍 之	中核市（宇都宮市健康増進課長）
12	柴 山 明 憲	栃木産業保健総合支援センター 副所長
13	桑 まり子	栃木県栄養士会 会長
14	鈴 木 美 恵 子	栃木県食生活改善推進員協議会 会長
15	青 山 旬	栃木県立衛生福祉大学校 副校長兼歯科技術学部長

② 栃木県8020運動推進協議会

歯科保健医療対策事業「8020運動推進特別事業」（国庫補助事業）の実施状況及び次年度計画について協議しました。

- ・日 時：平成31(2019)年3月14日
- ・場 所：とちぎ歯の健康センター
- ・議 題
 - (1) 平成30年度8020運動推進特別事業の実施状況について
 - (2) 平成31年度8020運動推進特別事業の実施計画案について

栃木県8020運動推進協議会委員

氏名	所属・役職等
1 大野 克夫	栃木県歯科医師会 専務理事
2 植原 雅章	栃木県歯科医師会 常務理事
3 印南 秀之	栃木県歯科医師会 理事
4 林 幸子	栃木県歯科衛生士会 会長
5 鈴木 美恵子	栃木県食生活改善推進員協議会 会長
6 伊澤 純一	栃木県教育委員会事務局 学校安全課長
7 青山 旬	栃木県立衛生福祉大学校 副校長兼歯科技術学部長

③ とちぎ歯の健康センター運営等協議会

とちぎ歯の健康センターを拠点とした障害者歯科診療、巡回歯科相談・指導、歯科保健に関する相談・指導及び普及啓発等に関する事業の実施内容の充実について協議しました。

- ・日 時：平成31(2019)年3月14日
- ・場 所：とちぎ歯の健康センター
- ・議 題
 - (1) 平成29年度及び30年度の事業実施状況について
 - (2) 平成31年度事業実施計画案について

とちぎ歯の健康センター運営等協議会委員〔任期：H31(2019).3.1～R4(2022).2.28(3年間)〕

氏名	所属・役職等
1 大野 克夫	栃木県歯科医師会 専務理事
2 箱島 光一	栃木県歯科医師会 常務理事
3 長島 啓智	栃木県歯科医師会 理事
4 林 幸子	栃木県歯科衛生士会 会長
5 安部 孝子	栃木県手をつなぐ育成会 監事
6 峯山 敏正	栃木県障害者施設・事業協会 副会長

